

成果の説明書

(氏名) 熊澤利和	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1) 成果説明 (大要)</p> <p>(1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】</p> <p>平成 27 年度の教育、研究、社会貢献等の分野に関する成果は、以下に集約される。 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) を下記の研究課題名及び期間に補助金による研究助成を受け研究を展開している。 研究課題名: 緩和医療における選択・決定の価値と公平性に関する方角的・実証的研究 補助事業期間: 平成 25 年度～平成 27 年度 研究代表者: 熊澤利和</p> <p>平成 27 年度は、チェコ共和国の緩和ケアに携わる病院医師、看護師、研究教育機関に携わる医師、ホスピスの施設長、在宅緩和ケアに携わる医師に聞き取り調査を行った。国内では、緩和ケア病棟に従事する医師に紙面によるアンケート調査を行った。</p> <p>(2) 【学内業務の分野】</p> <p>学内業務の分野では、</p> <p>①学部長補佐として学部学科の運営にあたった。特に入試制度についての検討等に携わった。</p> <p>②新カリキュラムでは、高崎市の課題と政策 平成 27 年 11 月 25 日 (水) 「やさしい眼差しに満ちた市政」講師: 福祉部子育て支援担当部長 長谷川浩氏 保健医療部長 歌代典彦氏の時に事前調整・講義時、成績の評価の担当をした。</p> <p>(3) 【学会報告等】</p> <p>①日本地域政策学会第 14 回全国研究大会 第 4 分科会 (医療・福祉) 「地域包括ケアシステムと地域福祉計画」分科会座長 開催日時: 2015 年 7 月 12 日 (日) 開催場所: 明治大学生田キャンパス</p> <p>②日本地域政策学会第 12 回全国研究大会 個別報告(1 日目) 第 4 部会 地域福祉 司会 開催日時: 2014 年 7 月 11 日 (土) 開催場所: 明治大学生田キャンパス</p> <p>【学会関連】</p> <p>①仏教看護・ビハラー学会理事 (継続 2013 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)</p> <p>②日本地域政策学会幹事 (新規 2014 年 7 月～2016 年 6 月)</p> <p>③大正大学社会福祉学会事務局長 (継続)</p> <p>【社会活動】</p> <p>①高崎市社会福祉審議会 身体障害者福祉専門分科会長 (継続 2014 年 4 月～2017 年 3 月 31 日)</p> <p>②福祉サービス評価推進センターぐんま 調査・研究専門員 (継続 2014 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)</p>	

2 その他の事項

1) 本学敷地内空間放射線量測定の実施

2011年11月2日より、定期的(月1回)に本学敷地内における空間放射線量測定(定点観測)を実施している。(現在継続中、予定として3年間実施、その時点で見直しを行い。教員の飯島と熊澤で判断し継続し測定を実施している。)

測定は、地域政策学部 飯島明宏 熊澤利和、総務グループ財務チームの水野、宮澤で実施している。

測定結果は、本学ホームページ→キャンパスライフ→健康管理→空間放射線量測定結果から閲覧することができる。

URL: <http://www.tcue.ac.jp/life/health/kansoku.html> (2016年4月19日現在)

2) 講義の方法について

担当科目すべてにおいて、行政、医療、福祉等に関連する動向を紹介している。各講義時間に対してそのための情報収集とそれを基にして講義の準備に、1回の講義に対して、同じ程度(またはそれ以上)の準備時間を費やした。

3 次年度以降の計画・抱負

1) 現在の研究の継続

研究テーマ「緩和ケア及び看取りにおける意思決定プロセスの倫理的・法学的側面に関する探索的研究」

研究代表者：熊澤利和

科学研究費助成事業 平成28年～平成30年度で新規採択されたので、現在の研究に引き続き研究を実施し一定の成果としてまとめることを目標にしたい。

2) 新規テーマ

①「(仮)地域コミュニティにおける寺院の役割ー社会福祉学・政治学の複合的視点からの分析」として、準備を行っていききたい。

②精神保健福祉領域において共同研究の準備を行う。

3) 学部長補佐として、関わっている業務において、何らかの形で継続的にコミットメントしていききたいと思っている。